

## 5. 効率的・安定的な財政経営（カネ）

目指すべき姿	取組み内容
税金など市に入るお金が有効に活用され、健全で持続可能な財政運営が行われています。	歳出削減と新たな歳入確保に向けた取り組みを行うことで、次の世代に責任ある財政を目指し、社会環境の変化に柔軟に対応できるような財政基盤を構築します。

### ①財政基盤強化

- 中期財政計画に基づく財政経営
- 財政情報の共有
- 出資法人の関与のあり方

- 中期の市財政のあるべき姿を示し、各種財政指標を用いて、予算・決算ごとの成果を確認しながら、計画的な財政経営を進めます。
- 財政の現状や課題について、市民との情報の共有化を進め、理解を深めてもらうことで、今後の行政サービスのあり方を市民と共に考えていきます。
- 出資法人について、現状や課題を把握し、今後の市関与のあり方を見直します。

### ②歳入確保

- 新たな資源の活用
- 継続的な取り組みによる歳入確保

- 新たな資源の活用により、自主財源の増収に取り組みます。
- 未利用財産の活用や市税収入の増加など継続的な取り組みにより、歳入確保に努めます。

### ③歳出削減

- 歳出削減方策の検討

- 膨張傾向にある予算総額を見直し、歳入に見合った歳出予算の編成を行います。
- 歳出削減に向けた基準や仕組みづくりを行います。

<p>公民連携では</p> <p>「資産の有効活用」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 未利用地の売却・貸付、市有財産への広告事業やネーミングライツの導入などにより、歳入確保を図ります。</li> </ul> <p>「民間視点での事務事業の見直し」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ すべての事務事業について、民間委託・民営化の可能性について、民間から提案を募集します。（コスト削減とサービスの質の向上を総合的に判断）</li> </ul>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 【主な実施項目】

## ①財政基盤強化

## 「中期財政計画に基づく財政経営」

- 財政数値目標実現や市債残高の抑制、財政調整基金の確保に努めます。
- 資産の把握に優れた新地方公会計の推進を図り、財政経営の情報を公開していきます。

## 「財政情報の共有」

- 広報くわなや財政状況パンフレットを活用して、市民との財政情報の共有を図り、市民参加による健全な財政経営を図ります。

## 「出資法人の関与のあり方」

- 土地開発公社の保有する土地の事業化を推進します。（平成28年度未解散予定）

## ②歳入確保

## 「新たな資源の活用」

## 「継続的な取り組みによる歳入確保」

- ふるさと納税による収入増の取り組みを行います。
- 収入確保のためネーミングライツの対象施設を検討します。
- 未利用財産の貸付・売却を推進します。
- 企業誘致を推進します。
- 課税客体の適正把握に努めます。
- 市税等収納率の向上に努めます。
- 使用料・手数料の総点検を行います。

## ③歳出削減

## 「歳出削減方策の検討」

- 歳出予算の上限額および配分枠を設け、財政規模とサービス水準のバランスを統制した予算編成を行います。
- 事業の見直しにより、統合・縮小・廃止への取り組みを進めます。